

试卷编号: A

河南师范大学 二〇一〇年硕士研究生入学考试业务课试卷

科目代码: 822 名称: 综合日语 适用专业或方向: 外国语言学及应用语言学
(必须在答题纸上答题, 在试卷上答题无效, 答题纸可向监考老师索要)

一、次の文の_____にはどんな言葉を入れたらよいか。最も適当なものを一つ選びなさい。(2×5=10点)

1. _____、明かりがついた。
ア) 太郎が部屋に入ると イ) 太郎が部屋に入って
2. (社長秘書が他社の客に対して) 社長はすぐ _____から、ここでお待ちしてくださいませ。
ア) 参ります イ) 見えます
3. (明らかにどこかへ行こうとしている人に) もしもし、どこへ_____。
ア) 行きますか イ) 行くんですか
4. (来客に) _____は席をはずしております。
ア) 米田部長 イ) 部長の米田
5. A: 昨日、田中さんに会ったよ。
B: えっ、_____誰ですか。
ア) 田中さんって イ) 田中さんは

二、次のセンテンスの違いを説明しなさい。(4×5=20点)

- (1) 1. パリに行ったとき、カバンを買った。
2. パリに行くとき、カバンを買った。
- (2) 1. 一緒にご飯を食べに行きましょうか。
2. 一緒にご飯を食べに行きませんか。
- (3) 1. 兄弟はたくさんいるのに、いつも太郎ばかりが用事を言いつけられる。
2. 兄弟はたくさんいるのに、いつも太郎だけが用事を言いつけられる。
- (4) 1. 雨が降るので、遠足を止めた連中が映画館へ押し寄せた。
2. 雨が降るから、遠足を止めた連中が映画館へ押し寄せた。
- (5) 1. 田中さんは妻にタバコを買いに行かせた。
2. 田中さんは妻にタバコを買いに行ってもらった。

三、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(20点)

動詞の表す動きのどの局面に着目しているのかを表す言語形式を(A)という。「～テイル」という形式はその代表的なものであるが、用いられる動詞によって表される局面が異なる。例えば、「魚が泳いでいる」という文と「お金が落ちている」という文を考えてみよう。前者は、「泳ぐ」という動きの(B)を表すが、後者は「落ちる」という動きの(C)を表す。テイル形が(B)を表す動詞は(D)、(C)を表す動詞は(E)と呼ばれることもある。

「～テイル」形には、さらに次のような用法もある。a は(F)、b は(G)、c は(H)を表す。

- a. さっきから電話をかけているんだけど、ちっとも出ない。
- b. 母にはまだ言っていない。
- c. 彼は若い頃、一度、北京を訪れている。

問1 (A)～(H)に入れるものとして適当なものを、次の1～14の中からそれぞれ一つ選べ(2×8＝16点)。

1、テンス 2、ボイス 3、アスペクト 4、反復状態 5、完了状態 6、結果状態 7、継続状態 8、習慣的動作 9、経験・経歴 10、意志動詞 11、無意志動詞 12、瞬間動詞 13、継続動詞 14、状態動詞

問2 次の1～4のうち、(A)の例として適切なものを、次の1～4の中から一つ選べ(4点)。

- 1. 彼はもう帰ったようだ。
- 2. さあ、食べよう。
- 3. 二度とこんな場所には来るまい。
- 4. 日本経済は回復しつつある。

四、次の文章を読み、空欄に適切なものを選択群(1～11)から選んで番号で書きなさい。(3点×8＝24点)

明治20年前後に三人の先駆者が相次いで現れた。口火を切ったのは、最初の近代的な評論『(①)』を著した(②)であった。英文学を学んだ(②)は、ありのままの世態風俗を客観的に写す(③)主義の文学を唱えた。(②)は、小説『(④)』を書いたが、戯作調を脱し切れなかった。しかし、『(④)』は、遊女との「色事」ではなく、幼馴染の女性と若い書生の『ラブ』を描こうとした、日本最初の(⑤)小説でもあった。

明治31年、新聞「日本」に連載され、書簡体形式で書かれた(⑥)の歌論『(⑦)』は、短歌革新運動の第一声となった。『古今和歌集』以来の伝統を重んじ、序詞や縁語などの技巧を重視する歌壇の正統派に対して、『万葉集』と源実朝を評

備して、率直な感情表現と客観的描写とを重視し、「(⑧)」を主張した。

選択群：

1. 正岡子規 2. 二葉亭四迷 3. 歌よみに与ふる書 4. 写生説
5. 恋愛 6. 小説総論 7. 当世書生気質 8. 坪内逍遙 9. 小林 茶
10. 写真 11. 小説神髓

五、次の文章を読み、空欄に適切なものを漢字で書きなさい。(3点×4＝12点)

官僚的な古代国家は、(①)の改新(六四五)において、律令制が施行されたのを境に、さまざまな抵抗を経験しながらも、その機構を完成していった。この律令制は、その後の日本文化——狭くは文藝——の性格を、つよく規制している。それは、文藝を、文藝そのものとして認めず、政治に従属するひとつの要素としてのみ存在させようとする意識において、実にはっきりした特色をもつものである。

壬申の乱(六七二)の後、天皇制は、いちじるしくその基礎を堅固にした。そうして、完成のあとに続く回想の機運が、史書の編纂を促がした。(②)および(③)は、そのような時期に成立したものである。両書は、ともに史書であって、天皇制の確立という政治的意図をつよく含んでいる。したがって、無条件に文藝史の対象とはならぬであろうが、そのなかに採り入れられている萌芽時代の文藝はずいぶん原形を失ったとはいえ、もつとも古い時期の文藝をわたくしどもに伝える唯一の資料として、貴重な意味をもつ。

国家的統一の進展に伴い、氏族がそれぞれもっていた英雄伝説は、あるいは滅びあるいは変質したと想像される。地方誌として編纂された(④)の説話さえ、天皇家に関係づけようとする傾向が見られる。

六、松尾芭蕉の文芸理念「不易流行」について、論じなさい。(14点)

七、次の問題を答えなさい。(6×5＝30点)

1. 弥生時代の文化と社会構造を概説し、その形成理由を述べなさい。
2. 仏教の根本教義から律令制における仏教の在り方の問題を分析しなさい。
3. 鎌倉時代、公家と武士とはどのような関係におかれたか、政治と文化の面から説明しなさい。
4. 江戸時代における朱子学が官学になる理由と、それに対抗する思想を概説しなさい。
5. 「和服」の特色は日本伝統的なものであるかについて理由をあげて述べなさい。

八、論述問題（10×2＝20点）

1. 日本人は中江兆民が述べた「我日本古より今に至る迄哲学無し」というような人種であるかについて論じなさい。
2. 日本文化史の視点から、どのように日本人に最も大きい影響を与える神道思想を考えるかについて論じなさい。